

笑顔のために

議会だより



続・どうなる



郷土史博物館



詳しくはP6,7へ

No.439

令和7年9月1日発行

目次 CONTENTS

- 01 表紙
- 02 目次
- 03 あなたにスポットライト！
富士宮市地域女性連絡会
- 04 5月臨時会・6月定例会の議決結果
46件の議案について審議
- 06 特集
続・どうなる、郷土史博物館
- 08 新議長・副議長紹介／会派の構成が変わりました
- 09 議会運営委員会／常任委員会
- 10 一般質問
18人の議員が市政を問う
- 19 9月、11月定例会の予定／議員表彰／議員研修
- 20 議会だより編集委員会の歩み／編集後記

議会だよりの編集と発行は、議会だより編集委員会が行っています。
委員長…仲亀恭平
副委員長…村瀬旬
委員…近藤千鶴、平下尚己、
山藤陽子、稲葉晃司

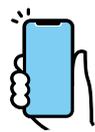
議会だより「笑顔のために」No.438（6月1日発行号）についてのお詫びと訂正

議会だより「笑顔のために」No.438（6月1日発行号）の5ページから6ページについて掲載内容に誤りがありました。お詫びして訂正させていただきます。
なお、ウェブサイトでは訂正版を公開しております。



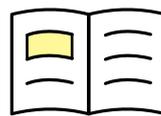
あなたの声をお待ちしています

議会での質疑や議会だよりの内容等について、ご意見お待ちしております。



議会をネットでみよう

本会議のインターネット映像（ライブ・録画）を配信しています。



議会だより電子版

富士宮市ホームページから、議会だより電子版（PDF版）を見ることができます。



LINE 友だち追加

市公式LINEにて、議会に関する情報を発信しています。





富士宮市地域女性連絡会

「大きな活力をくれる、本音で語り合える、達成感を共有できる仲間がいる場所」

議会だより編集委員会が直接話を聴いて市民の本音に迫る「あなたにスポットライト」。第二回目は富士宮市地域女性連絡会の皆さんにお話を伺いました。その活動は当時、『市の活性化の一助に』との思いから始まり、市行事への参加・協力から、独自の郷土紙芝居の制作・上演に至るまで多岐にわたり、地域社会に深く貢献しています。

今回は、その活動の軌跡と、地域への真摯な想いに迫ります。

富士宮市地域女性連絡会とは

起源は、昭和61年5月9日に発足した「地域婦人団体連絡会」にあります。当時、59地区の婦人会から約8000人も参加者を集め、地域に大きな影響力を持つ組織としての歩みをスタートさせました。

力を入れている富士宮の歴史や伝説を題材にした紙芝居の制作・上演は生涯学習の一環として始まり、現在まで続いています。毎週1回の制作会で丹精込めて作られた紙芝居を、年間約60回上演しています。

皆さんにとって、富士宮市地域女性連絡会はどこな場所ですか？



▲富士宮市地域女性連絡会の皆さんと議会だより編集委員



▲取材の様子

メンバーは、この会には本音で語り合える仲間がいて、その存在が心の支えや大きな活力になっており、また、地域の歴史や文化を学ぶ楽しさは、私たちに新たな刺激を与えてくれ、皆で協力して一つの作品を創り上げる達成感は、何物にも代えがたい喜びであると、活動を通じて得られる成長と喜びを語ります。

さらに、「無理なく楽しく、そして着実に、この活動を次世代へとつないでいきたい」と語る言葉には、地域への深い愛情と、持続可能な活動への強い思いを感じました。

作品「風祭川」に秘められた物語

紙芝居「風祭川」の制作者の一人が、アイデアが浮かばず悩んでいたところ、友人に誘われ伊勢神宮の風宮を訪れた時の不思議な出来事を教えてくれました。

「友人に誘われて伊勢神宮の風宮を訪れたのです。するとそこで風が



▲代表の土屋善江さん

吹き、まるで導かれるように、玉ぐしほどの枝が目前に落ちてきたのです。さらに、帰り道では白い馬に遭遇し……。その瞬間、『神様を乗せて白い馬が降り立つ』というイメージが鮮明に湧き上がり、作品制作の大きなきっかけとなりました。

この神秘的な体験が、作品に深みを与えたと言います。

市民の方々へのメッセージ

共に地域の未来を創造しませんか
会員の皆さまは、「私たちは、皆様と一緒に楽しく活動し、富士宮の豊かな歴史と文化を次世代へつなぐため、力を尽くしていきたいと願っています。今後も、富士宮市地域女性連絡会の活動を続けていくため、共に活動してくれる仲間を増やしていきたい。」とおっしゃっていました。

地域への深い愛情と、文化伝承への使命感を持って活動を続ける富士宮市地域女性連絡会。彼女たちの真摯な取組が、これからも富士宮の地域社会に温かい光を灯し、未来へと続く道を切り拓いていくことでしょう。

(文責・仲亀恭平)

5月臨時会・6月定例会の議決結果

5月臨時会 議案審議

議案番号	件名	議決結果
議選第2号	常任委員の選任について	決 定
議選第3号	議会運営委員の選任について	//
議選第4号	富士宮市議会議長の選挙について	//
議選第5号	富士宮市議会副議長の選挙について	//
報第5号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告について	報 告 済
報第6号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告について	//
報第7号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告について	//
報第8号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告について	//
報第9号	富士宮市税条例の一部を改正する条例の専決処分報告について	承 認
報第10号	富士宮市都市計画税条例の一部を改正する条例の専決処分報告について	//
報第11号	富士宮市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分報告について	//
議第37号	令和7年度富士宮市一般会計補正予算（第1号）	原案可決 全会一致
選第21号	監査委員選任に関し同意を求めることについて	同 意 全会一致

6月定例会 議案審議

議案番号	件名	議決結果
報第12号	令和6年度富士宮市一般会計繰越明許費繰越計算書について	報 告 済
報第13号	令和6年度富士宮市一般会計事故繰越し繰越計算書について	//
報第14号	令和6年度富士宮市水道事業会計予算繰越計算書について	//
報第15号	令和6年度富士宮市下水道事業会計予算繰越計算書について	//
報第16号	令和6年度富士宮市病院事業会計予算繰越計算書について	//
諮第2号	人権擁護委員候補者の推薦に関し意見を求めることについて	同 意
諮第3号	人権擁護委員候補者の推薦に関し意見を求めることについて	//
諮第4号	人権擁護委員候補者の推薦に関し意見を求めることについて	//
諮第5号	人権擁護委員候補者の推薦に関し意見を求めることについて	//
選第22号	固定資産評価審査委員会の委員選任に関し同意を求めることについて	//
選第23号	固定資産評価審査委員会の委員選任に関し同意を求めることについて	//
議第38号	富士宮市税条例の一部を改正する条例制定について	原案可決 全会一致
議第39号	富士宮市総合福祉会館本館長寿命化工事（建築工事）請負契約の締結について	//
議第40号	富士宮市立西小学校管理特別教室棟・普通教室棟長寿命化工事（建築工事）請負契約の締結について	//
議第41号	富士宮市立東小学校管理教室棟等改築工事（建築工事）請負契約の締結について	//
議第42号	財産の取得について	//
議第43号	財産の取得について	//
議第44号	財産の取得について	//
議第45号	財産の取得について	//
議第46号	市道路線の廃止について	//
議第47号	市道路線の認定について	//
議第48号	令和7年度富士宮市一般会計補正予算（第2号）	//
議第49号	議第49号 市が進めている（仮称）郷土史博物館事業を今、実施することの賛否を問う住民投票条例制定について、総務文教委員会に再付託の上、継続審査を求める動議	動議否決 賛成少数
	市が進めている（仮称）郷土史博物館事業を今、実施することの賛否を問う住民投票条例制定について	原案否決 賛成少数
議第50号	富士宮市立東小学校管理教室棟等改築工事（電気設備工事）請負契約の締結について	原案可決 全会一致
議第51号	富士宮市民文化会館リニューアル工事（建築工事）請負契約の変更について	//
議第52号	富士宮市民文化会館リニューアル工事（電気設備工事）請負契約の変更について	//
議第53号	富士宮市民文化会館リニューアル工事（機械設備工事）請負契約の変更について	//
議選第6号	静岡県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙について	決 定
議選第7号	岳南排水路管理組合議会議員の選挙について	//
陳情第1号	近藤千鶴議員に対する処分要求について	戒 告
	一般廃棄物（し尿・汚泥）汲み取り手数料原価の調査のお願い 近藤千鶴議員に対する懲罰動議について	不 採 択 継続審査

※議選＝議会で挙行する選挙や人事案件、報＝市からの報告、議＝条例・予算・契約などの議案、諮＝人事案件のうち人権擁護委員候補者、選＝人権擁護委員候補者以外の人事案件、陳情＝陳情 の略。

（毎年2月定例会からの通し番号）

※詳しくは市議会事務局（電話22-1191）までお問い合わせください。

5月臨時会・6月定例会の議決結果

議第49号 市が進めている（仮称）郷土史博物館事業を今、実施することの賛否を問う住民投票条例制定について

原案否決

【原案否決までの流れ】

市が進めている（仮称）郷土史博物館事業を今、実施することの賛否を問う住民投票条例案に対し、継続審査を求める動議が提出され、否決されました。その後、原案に対して採決し、否決されました。

継続審査否決

賛成6人 反対15人

継続審査…議会の議決によって、付託された委員会が閉会中に引き続き審査を行うこと



提出者 岩村恵美

1. 時期について条例案どおりにいかない。2. 住民投票の費用8100万円の予算がかかる。3. 結果についての法的拘束力について。署名した方々の思いと違った方向にならぬよう判断したい。



反対討論 近藤千鶴

今、継続審議にすると市民の声が遠くになり、なかった事にされてしまう。今すぐ私たちはここで賛否を問いたい。



賛成討論 渡辺佳正

参院選が始まっている時点で住民投票を同時実施するには多くの困難が予測される。今は無理でも、状況に応じて実施できるように継続審査が最善の選択肢と考える。

【賛否が分かれた議案】

議員名 (議席番号順)	近藤千鶴	佐野和彦	仲亀恭平	平下尚己	赤池弘源	中野健太郎	齋藤和文	山藤陽子	稲葉晃司	白井由紀子	岩村恵美	小松快造	辻村岳瑠	芦澤秀典	佐野寿夫	望月芳将	渡辺佳正	鈴木弘	植松健一	村瀬旬	諏訪部孝敏	佐野和也	賛成	反対	議決結果
議案・結果	×	※	○	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	6	15	否決

※ 議長…議長は表決に加わりません。ただし、○、×が同数の時は議長が決定します。

原案否決

賛成2人 反対15人 棄権4人



賛成討論 村瀬 旬

この度の4860人の署名は先の市議会議員選挙に照らし合わせると、3人の市議会議員を当選させる数字であり、とても重く、否定、無にできるものではない。



反対討論 赤池弘源

基本計画が策定されていない段階で市民に賛否を問うのは手順として適切ではなく、参議院選挙との同時実施も物理的に困難。



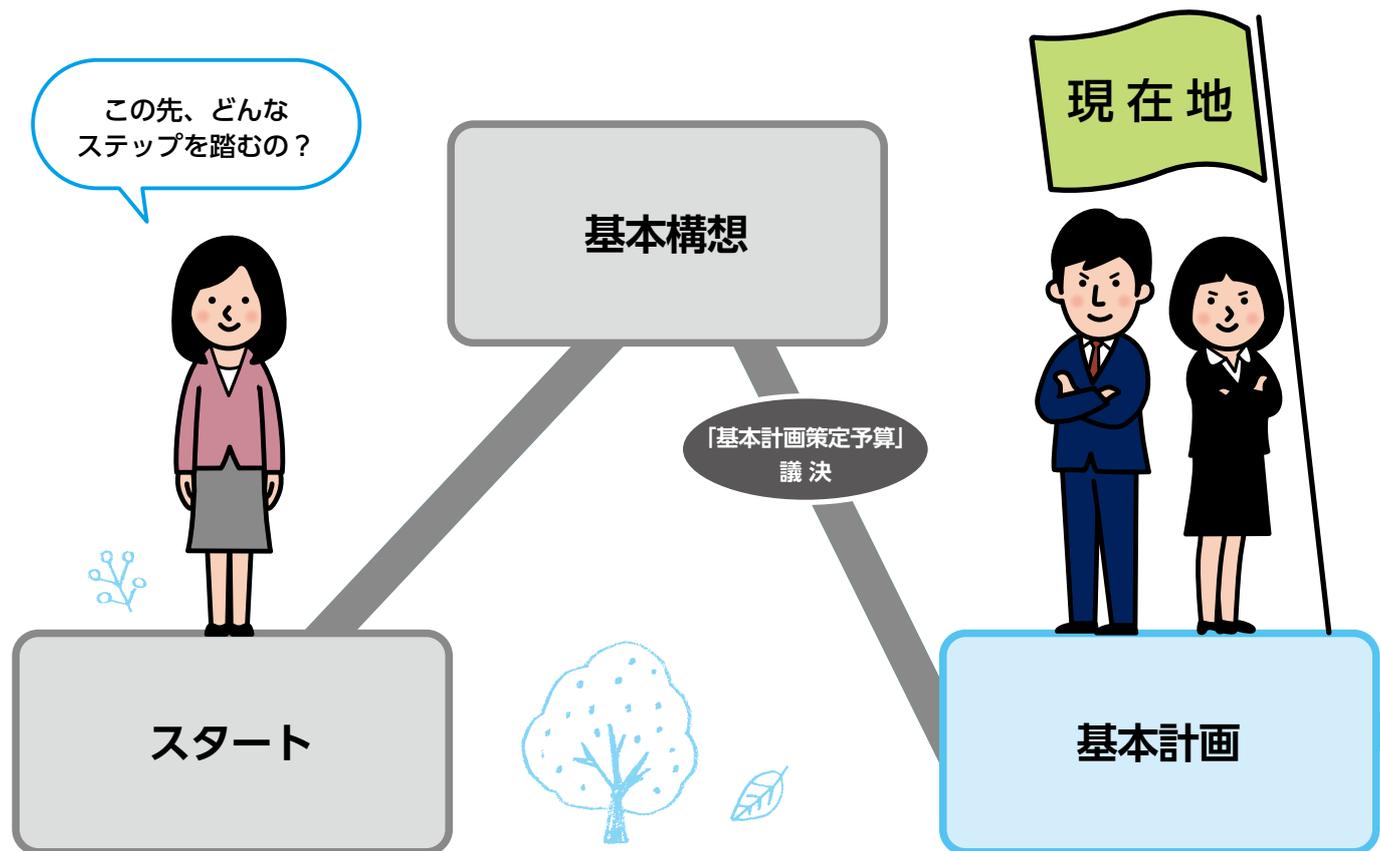
賛成討論 近藤千鶴

博物館よりも市立病院や学校などの生活に直結することに財政は使ってほしいという市民の声を酌んでほしい。議員の皆様にはこの住民投票条例の制定をお願いしたい。

【賛否が分かれた議案】

議員名 (議席番号順)	近藤千鶴	佐野和彦	仲亀恭平	平下尚己	赤池弘源	中野健太郎	齋藤和文	山藤陽子	稲葉晃司	白井由紀子	岩村恵美	小松快造	辻村岳瑠	芦澤秀典	佐野寿夫	望月芳将	渡辺佳正	鈴木弘	植松健一	村瀬旬	諏訪部孝敏	佐野和也	賛成	反対	議決結果
議案・結果	○	※	×	×	×	×	×	×	棄権	×	棄権	×	×	×	×	棄権	棄権	×	×	○	×	×	2	15	否決

※ 議長…議長は表決に加わりません。ただし、○、×が同数の時は議長が決定します。



 今回初めて住民投票条例案が提出されましたが、これに対する各会派の考えや思いを聞きました

〈公明会〉

住民投票に既存の選挙システムを使用することができない。システムを構築するのに約8か月かかり、全体で約8000万円の費用が必要。参議院選挙と同時実施は難しい。

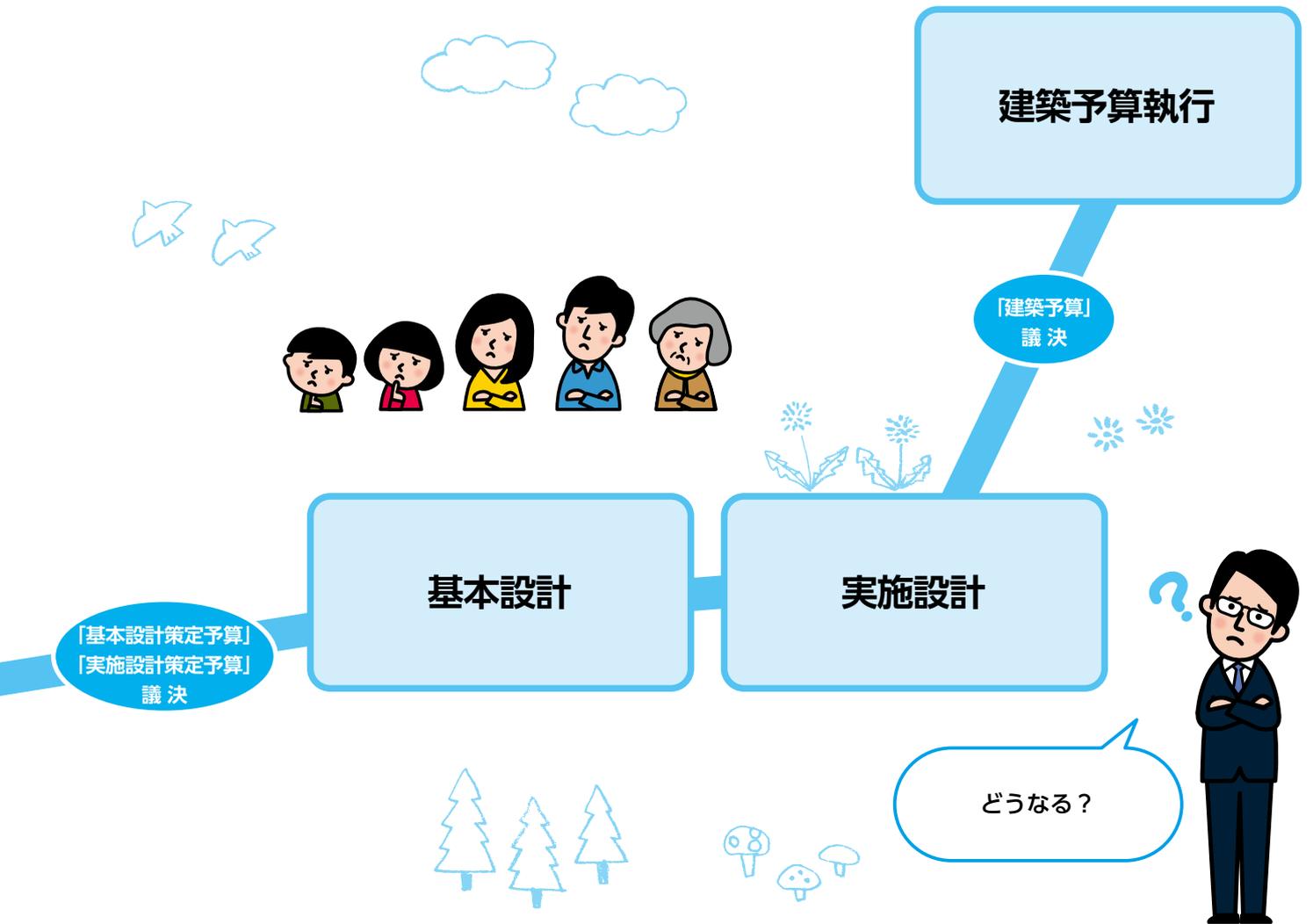
また、(仮称)郷土史博物館案が策定するまでの過程は①基本構想②基本計画③建築基本設計④実施設計がある。基本計画案を十分議論し、市民へ周知が必要と考えている。

〈明和〉

署名された方々の民意は重く受け止めている。しかし、今回提出された住民投票条例案は、内容に不備があることや、基本計画が策定されていない状況での住民投票の実施には、誤解や混乱の恐れがあるため賛成はできない。今後当局から提出される基本計画案には民意を尊重し、現実的な判断をしたい。

〈至誠〉

一部の市民の皆さんの声とはいえ、住民投票条例案が提出されたことについては会派として大変重く受け止めております。しかしながら郷土史博物館建設の賛否については時間的猶予のない埋蔵文化財センターの建て替えや、今博物館規模のものが必要なのか、資料館規模ならいいのかなど、議会としてまだまだ検討しなければならない課題だと考えています。



〈超党派虹の会〉

今回の署名活動で集まった市民の思いは真摯に受け止める。委員会で明らかになった現状の選挙システムでは、参院選との同時実施は大変困難である点、費用が約 8000 万円かかる点を考慮し、継続審査に賛成した。継続審査は議員の任期中まで継続できることから、じっくりと審査して市当局に睨みを効かせられることが大きな理由である。

〈つなぐ〉

住民投票の署名数を重く受け止めつつも、約 8000 万円という多額の費用と新システム開発に伴う時間的制約から、提案された期日までの条例案実施は困難とのこと。

さらに、投票結果に拘束力がない点も懸念材料である。請求代表者の意向を最大限に尊重するためにも、住民投票の実施については継続審査とし、慎重に検討を重ねるべきではないか。

〈無会派〉

多くの市民が博物館建設に疑問を感じており、十分な説明がなされていなかった。

私も 5 年間一貫して博物館建設を反対の立場で活動してきた。

今回の 4860 人の署名には一筆一筆にこめられた願いがある。

議員の役割は市民の思いや声を届けることにあり、誰もが意思を明確に示すことができる住民投票を実現したかった。

新議長・副議長紹介／会派の構成が変わりました

第 61 代市議会議長

さ の かずひこ
佐野 和彦



第 65 代市議会副議長

さいとう かずふみ
齋藤 和文



就任あいさつ

皆様には、日ごろより富士宮市議会の活動に対しまして、深いご理解とご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。この度、令和7年5月臨時会において、第61代議長並びに第65代副議長に就任いたしました。

議員各位のご理解とご協力のもと、議会が本来果たすべき役割を最大限に発揮できるよう、皆様の意見をしっかりと反映し、行政との連携を密にしながら、市政の発展に貢献してまいります。また、私たち富士宮市議会は、二元代表制の一翼を担うとても重要な役割があることを念頭に置き、是々非々の覚悟で公正で中立な立場で職務を遂行してまいります。

富士宮市議会は市民の笑顔のために！！

議長・副議長インタビュー

Q議員になって良かったことは何ですか？

【議長】多くの市民との対話によって、笑顔のために仕事ができることです。

【副議長】多くの市民と会い、対話を行い、相談を受ける中で、相談が解決した時が真の意味で良かったことです！

Q富士宮市のお気に入りの場所はどこですか？

【議長】富士山の5合目から見る景色、白糸の滝と白糸自然公園、村山浅間神社、山宮浅間神社、浅間大社とその周辺、明星山公園と白尾山公園から見る景色

【副議長】やはり富士山です！市内から見える富士山、上条や北山から見える富士山は、10年間記録しています！

Q今熱中していることは何ですか？

【議長】ソフトボール、スキー、ゴルフ、水泳、映画鑑賞、人との対話がとても好きです。

【副議長】若い世代問わず、仕事をしたい、給与面の待遇を良くしたいなど、転職のお手伝いをしていることです！

Q今後の抱負を教えてください。

【議長】議長としての任務が果たせるように頑張りたいです。また議会の思いが市民の笑顔に繋がるようにしていきたいです。

【副議長】いよいよ50歳となります。これまでと変わらず、市民との距離感の近い議員を目指して頑張ります！

会派の構成が変わりました

会派「富岳会」解散

令和7年4月15日をもって、会派「富岳会」は解散し、会派に所属しない議員（無会派）と合流して会派「つなぐ」を結成しました。

会派「超党派虹の会」一部会員が脱退

令和7年4月28日をもって、近藤千鶴議員が脱退し、無会派となりました。渡辺佳正議員が会派代表者になりました。

つなぐ



「市民の声を政治につなぐ」「異なる意見を持つ人々をつなぐ」「世代と世代をつなぐ」「今と未来をつなぐ」「命をつなぐ」

『会派つなぐ』は多様な人々の声や意見、異なる立場を結びつけ、より良い郷土を築いてまいります。

○印は会派代表者

議会運営委員会

佐野和也委員長コメント

議会運営委員会は、議会の運営をスムーズに行うための委員会です。定例会の日程等や、議会改革、議会ルールについて提案・検討・整備します。

市民の皆様には行政や議会に興味を持っていただけるよう、今年度も引き続き各会派から提出された議会改革案を精査し、引き続き議会改革に力を入れてまいります。



- 委員長 佐野和也
- 副委員長 望月芳将
- 委員 中野健太郎、山藤陽子、稲葉晃司、岩村恵美、佐野寿夫、植松健一

総務文教委員会

渡辺佳正委員長コメント

郷土史博物館事業の賛否を問う住民投票条例案について、「博物館の建設場所や建物規模などが不確定な中で、参院選との同時実施で賛否を問うことは、事業可否の判断根拠、住民投票システム構築の費用・時間的な問題から、請求者が求めている住民投票を実施することは困難」などの意見が多数を占め、同条例案は否決されました。



民泊「雀の結」(内房)で地域おこし協力隊の活動などについて視察

- 委員長 渡辺佳正
- 副委員長 中野健太郎
- 委員 齋藤和文、辻村岳瑠、芦澤秀典、望月芳将、植松健一

環境厚生委員会

佐野寿夫委員長コメント

政策課題は、富士宮市立病院が増改築や補修で既存施設の長寿命化を図る方針が決定したことを受け「富士宮市立病院の既存施設を生かした医療サービスの充実について」と決定しました。今後、病院当局との意見交換や病院内視察、他市の病院の視察を行っていきます。

所管事務調査は、ケアラー支援条例、再生可能エネルギー、清掃センターについて実施していきます。



- 委員長 佐野寿夫
- 副委員長 平下尚己
- 委員 稲葉晃司、臼井由紀子、岩村恵美、村瀬旬、佐野和也

産業都市委員会

小松快造委員長コメント

近年、地球温暖化の影響による異常気象の増加や、南海トラフ地震など大規模災害の発生が懸念されている。自然災害の頻発化、激甚化の傾向が見られる状況下において、災害発生時に迅速かつ適切な対応が取れるよう、地域住民の防災意識の向上と自助力・共助力の強化が大変重要となっている。「安心して健やかに暮らせるまちづくり」をテーマとした。



- 委員長 小松快造
- 副委員長 山藤陽子
- 委員 近藤千鶴、仲亀恭平、赤池弘源、鈴木弘、諏訪部孝敏



あしざわ
芦澤
(明和)

ひでのり
秀典

環 境 企 画

異臭騒ぎに関する対応と再発防止策について

問 原因調査の進捗について。

部長 市では、通常、悪臭に起因する苦情を受け付けた場合、現場確認を行い、現場確認の結果、原因者が特定できた場合には、原因者に対して対策を行うよう指導している。指導の結果、改善がされない場合、悪臭防止法第11条に基づく測定を実施する。測定の結果、事業活動に伴って発生する臭気が規制基準に適合しない場合には、さらなる対策を行うよう指導している。

問 再発防止策について。

部長 今回の苦情の原因は堆肥の施肥で行為自体に違法性はなかった。臭いが強く感じられたことから、次回以降使用する堆肥については、現状よりも熟成期間を長くした堆肥を使用すること、施肥の際には一度に畑に入れる量を少な

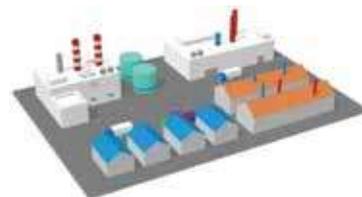
くすること及び施肥後の速やかなすき込みの指導を行うなど、再発防止に努めている。



企業団地造成計画について

問 将来の展望と市としての方針について。

部長 今回のこの工業団地の造成については、地域の経済の振興、産業の基盤の整備強化を目的にするものである。こうすることによって、道路のアクセスや市道がよくなる。また、近隣にある程度人が集まることによって、軽微かも知れないが商業地域、商業施設もある程度出てくる可能性はあるのかと考えている。



つじむら
辻村
(明和)

たける
岳瑠

産 業 振 興 病 院

「川と生きる」を掲げた新たな観光施策を提案

問 他地域との差別化・競合優位性を確保するために、新たな観光施策に「川と生きる」をテーマにした、川と人を魚釣りで結びつけるという観光施策を提案する。豊かな自然を後世に継承し、地域資源を活用、観光に新たな感動を創出させる三方よしの提案である。新たな観光基本計画に川と人を結びつける観光施策について市の見解を伺う。



市長 市内には、数多くの美しい川が流れている。この豊かな自然は、本市の大きな魅力であり、観光施策や産業施策の観点からも、これをしっかり生かしていくことが重要であると考えている。特に、今後は、美しい川や自然環境をいかに活用し、地域の魅力として発信していくかが重要である。また民宿をどう活用するかも大切。そ

のためにも、川に魚がすみ、釣りなどのレジャーを楽しむことができる環境づくりが求められる。魚の放流をはじめとした環境整備について、しっかりと予算措置を講じてまいりたいと考えている。



意見 市では「清流の美」を大切にしており、その具体化が川と人を結びつける魚釣りの観光施策である。現在一つしかない芝川特定区をさらに広げていくような形で、宿泊してさらに楽しんでもらう環境づくりが必要ではないか。

新たな市立病院の在り方が示されたことを受けての、看護業務のDX推進と介護福祉士の配置を提案

問 看護DX推進と介護福祉士の配置は看護業務の能率化を図り、それが市民の医療満足度向上につながる。

部長 DXについては、協議・検討を行っている。介護福祉士の配置は、看護師の人員確保が困難になる場合には担い手として活用したい。





うすい ゆきこ
白井 由紀子
(つなぐ)

教 育 環 境

公民館、文化ホールをはじめとした市内公共施設について

問 芝川公民館と芝川文化ホールの関係性について。

部長 利用については公民館は公民館条例、文化ホールは芝川文化ホール条例により定められている。使用申請の期間にも公民館は1か月前から文化ホールは6か月前から可能と違いがある。公民館は社会教育法により営利活動等に使用できないのに対し文化ホールはより広い用途での利用が可能である。現在、社会教育施設である芝川公民館と文化施設である芝川文化ホールを一体的に利用し、地域における社会教育活動及び交流活動を進めていけるよう交流センター化に向けて進めていく。

問 そこに自動販売機の設置はできないのか。

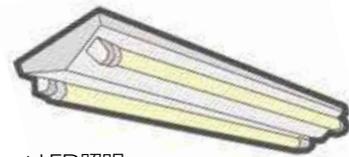
部長 設置は可能。利用者の水分補給、熱中症対策のクーリングシェルターとして開放していることから必要。現在設置に向け調整中。

公共施設のLED化について

問 公共施設のLED化の進捗状況と今後の計画について。

部長 令和5年度調査では全てに導入済は21施設、一部導入は115、導入していないは188施設。特に保育園、小中学校の導入率は18.4%。今後市ゼロカーボンシティ推進本部会議においてLED化をより加速させる為にゼロカーボンシティの実現に向けた行動指針、LED照明の導入を追加することを決定。

市長 公共施設のLED化は地球環境を守る、CO2の削減を1日も早く進めたいということでリースの選択をした。



▲LED照明



なかの けんたろう
中野 健太郎
(明和)

財 政 市 民

【減税】経済政策としてありえるのか

問 法人市民税は県内トップの超過課税額を計上している。政策としての検証が必要では。

部長 昭和52年から資本金1億円以上の法人に8.2%（それ以外は6.0%）

で実施、貴重な一般財源として活用している。

市長 富士宮市への貢献という気持ちで認めていただいているが、非常に厳しい状況になってくるのでは。しかし市の状況を伝えながら、これから先もやっていただきたいと思っている。

問 市民税減税など市民向けの税負担軽減を導入する余地はあるか。

部長 人口減少と地域経済の停滞が課題となる



中で、経済政策としての手段ではなじまない。

問 人口減少を見越した行財政改革として、事業の可視化とスリム化を図るべきでは。

部長 国のアナログ規制を市も考えねばならない時期にきている。事務業務フローの効率化も図れるのではと期待、その方向で考えている。

【公共交通】リ・デザインで地域の足を守るには

問 杉田や柚野の生活支援が生活の足としての役割を果たしている。市域を越えた通院ニーズ等を補完していると考えが、いかがか。

部長 地域活性化再生会議、交通の会議が富士にも富士宮にもある。どう連携できるのか、今後検討していく必要がある。

要望 障害者雇用の支援のため、工業団地企業と連携する民間の動きがある。交通事業者との調整、法令との適合、整合性を図るため、相談窓口体制の強化をお願いしたい。





うえまつ けんいち
植松 健一
(至誠)

産業振興
環境
保健福祉

インバウンドの問題やオーバーツーリズムへの対応について

問 今後、当市においてもインバウンドの増加やオーバーツーリズムが予想されるが、それにより懸念される問題と対応策は。

部長 登山シーズンや観光シーズンには、市内や周辺道路で交通渋滞が発生し観光客の移動や地域住民の生活に大きな影響が出る可能性があります。またゴミの問題、騒音、住民とのトラブル、自然環境への影響などが懸念されます。これらの問題に対応するためには公共交通機関の利用促進、観光客向けマナー啓発や情報提供、多言語対応の強化、インフラ整備のほか分散化のための新たな観光資源の発掘や開発など様々な対策の検討が必要だと考えます。観光客だけでなく地域住民、事業者、行政が一体となって

取り組んでいくことが重要だと考えます。

ゴミの回収とリサイクルについて

問 青木平区の実績を踏まえ、ゴミ出し困難家庭についての対応を検討してはどうか。



部長 訪問介護事業者への調査など市域全体のゴミ出し困難世帯の状況把握に努めてきたが、現在まで戸別回収でなければゴミ出しができないという高齢者は報告されていない。将来的に戸別回収を含めた直接的な戸別支援が必要となった際には地域の実情に応じたより具体的な支援策について検討を進めていきたい。

問 有料を前提としても、粗大ゴミの戸別回収を行うことを検討できないか。

部長 現在、相談等があった場合は収集運搬業者やインターネットサービスを紹介している。県内市町に確認したところ、市で回収を行っている市や回収業者に委託しているところもある。高齢者の増加に伴い今後の課題と考えている。実施する場合の課題等を研究していきたい。



こんどう ちづる
近藤 千鶴
(無党派)

病 院
消 防

将来を見据えた市立病院整備と医療体制の在り方について

問 新築建て替えを断念した理由。

部長 市立病院の経営予測、市の財政見直しなどを総合的に勘案した。



問 看護師の退職状況とその要因分析。

部長 転出や家族の介護や結婚・出産・育児など身体的負担が要因。看護師の離職率は全国平均11%のところ当院は7%。

問 地方独立行政法人化や民間医療機関との連携は考えていないか。

部長 地方独立行政法人化の考えはない。

問 新築と増改築の比較の金額のデータは。

部長 新築1床当たり1億円。増改築は未定。

問 新築断念の決定はあり方委員会が決定したのか？

部長 今後の課題等の整理をしたのがあり方委員会で、課題に基づいて当局と協議した。

問 富士市立中央病院は富士市と静岡市等の患者がターゲットで、富士宮市の対応はあまり想定していないのではと感じられているが。

病院長 富士市立中央病院はどちらかというと富士市内の医療に集中したいという意向が強い。

消防長 富士市への搬送件数は全体の約3%。

意見 市長は財政は余力があるといっている。ならば、今が絶好のチャンス。たった一つの産科への依存リスクも心配。皆さんの英知を結集し、何としてでも新築の方向に持って行っていただきたい。

閉塞感を生み出す市政運営とその打開策について（郷土史博物館を巡って）

問 市民と同じ目線で歩もうとする気持ちが大事、4860人の署名に対して「その程度」の言葉を撤回する気持ちはないのか。

市長 大変なことだったと思うが、もっと集まるかなとそこそこの数字かなと思う。



いなば こうじ
稲葉 晃司
(超党派虹の会)

消防

2004年7月から一般の人がAEDを使用できるようになってから20年が経過し、富士宮市のこれまでを振り返る

問 これまでに普通救命講習を受講した市民の延べ人数と富士宮市内でAEDを使用して救われた命はどれほどか。

消防長 AEDの取扱い内容を含めた普通救命講習開始時期の平成17年6月から令和7年5月の期間で普通救命講習の受講者は15,041人、ほかの救急講習受講者を含めると45,986人。また、市内でAEDを使用して救われた命は令和2年から令和6年の期間でAEDで除細動の手当てを受け、生存状態で退院した方は16人。

問 令和7年度は市内の小中学校にAEDが各1台増設されることから、小学校高学年を対

象にした普通救命講習導入講座の実施、中学生を対象にした普通救命講習の実施を提案する。当局の見解は。



教育長 小学校では地域消防団と連携し危機管理教育を実施している。令和6年度では市内21校中10校が実施、令和7年度では13校が実施予定。AEDが各校に増設されることからこの取組の意義を積極的に呼びかけ市内の全ての小学校で実施できるよう働きかけていく。市内の中学校13校中11校では、消防職員を講師に招いたり、養護教諭と連携し体験的に救命講習の実施をしている。残りの2校に対してこれを機に早速、体験的な救命講習の実施を呼びかけたいと考えている。児童生徒が救命に関する知識と命の大切さについて学ぶことは大変重要なこと。今後、各校に積極的な取組をお願いする。



ひらした なおき
平下 尚己
(明和)

教育

公立小中学校図書室の充実について

問 小中学校図書室の蔵書数と更新状況は。

教育長 小学校143,217冊、中学校98,344冊で、更新は各小中学校にて判断している。

問 文部科学省が定める「学校図書館図書標準」との比較において、本市の整備状況は。

教育長 小学校7,103冊（達成率95.3%）、中学校22,696冊（81.2%）で達していないが、単に環境として冊数を増やすというのではなく、質も高めていきたい。

問 人気図書の複本化について。

教育長 複本化の対応が最良ではあるが、各小中学校に委ねていきたい。

問 情報系図書（図鑑など）の更新について。

教育長 最新の知識や情報が求められる分野であるが、1人1台端末を活用してほしい。

問 図書購入にかかる予算とその運用の実態について。

教育長 図書購入実績と児童生徒数を基に小中学校別に予算確保している。

問 電子図書の導入と活用について。

教育長 市立図書館において、市民向けの電子図書館サービスについて調査検討を進めており、実現できれば、図書館のカード、IDでアクセスでき電子図書を借りられる可能性がある。

問 電子図書導入における著作権の課題と対応について。

教育長 学校向けの電子図書館サービスのニーズを丁寧に聞き取りながら、著作権の課題や運用コスト面も含め検討したい。

要望 あらゆるこどもたちの、心地よい居場所としての学校図書室を要望します。





あかいけ ひろもと
赤池 弘源
(明和)

教 育 企 画

建築業の人材育成と魅力向上に向けた行政の役割について

問 静岡県の事業として「WAZA チャレンジ教室」がある。単なる知識だけでなく、実感を伴った学びにつながると考える。富士宮市では導入の実績が少ないがなぜか。

部長 受入れ人数に制限があったり、料金が発生するため、導入が難しいと考えられる。



問 ジョブフェスティバルについて広報強化などのための補助金の増額の検討はできないか。

部長 この事業は、主催、企画等については商工会議所を中心として行っていると聞いている。今後については協議の中で考えていく必要があると思っている。

富士宮市の花、「フジザクラ」について

問 富士宮市のホームページによると、フジザクラを見ることのできる場所として、富士山さくらの園、田貫湖、富士桜自然墓地公園などがあるが、現状では、市民・観光客に認識されにくい。樹名板や説明板を付けたらいかがか。



部長 市の木や花、鳥は、その土地特有の動植物で、長い歴史や風土に根差したものも多く、地域資源を大切に、次世代へ継承していくためにも重要なものである。樹名板や説明板等の設置について、関係部署と協力して進めていく。



いわむら えみ
岩村 恵美
(つなぐ)

保 健 福 祉 市 民

多子世帯の負担軽減について

問 出生数からも少子化が加速している中、保育料算定における第何子の数え方に課題がある。市では年齢にかかわらず生計を一にする全ての子を対象に数え、第2子は半額、第3子以降は無料とすべきではないか。

部長 保育料の算定は国の制度に準じているが、自治体により違いがあり、本市では就学前児童を対象としている。他市町の制度変更の状況を注視しながら、多子世帯の保育料負担軽減の見直しに向けて前向きに対応する。

問 富士宮市は他市と比較して第3子に保育料が発生している。制度変更の速やかな実施を。

市長 他市との比較表を見て問題を認識。システム改修を待たず、市独自の無料化施策の可能性を内部協議中。実現に向けて前向きに取り組む。

意見 非課税世帯、低所得者への手厚さが際立ち、一生懸命税金を納めているのに、子育てをしながら働く現役世代は、不平等をひしひしと感じて言葉にしている。2人目、3人目の後押しをしていただけるとのことで、お伝えしていく。



第6次総合計画における土地利用の在り方について

問 旧花鳥園跡地の活用について、規制緩和や特区制度の活用は可能か、市街化調整区域内にあるが、民間事業者提案の受け入れと地域振興の観点から、早期の活用を期待するが。

部長 同地は市街化調整区域かつ国立公園内であるが、特定の用途で開発可能。施設は老朽化しているため取り壊しを含めた民間提案も考えたい。都市計画法や自然公園法を踏まえた上で、市の方針に沿うよう検討します。



やまふじ ようこ
山藤 陽子
(公明会)

企 画
市 民

市民サービス向上について（富士宮市公式LINEの活用方法について）

問 市内の登録人数について、また、目標登録人数はあるのか。

部長 登録人数は約3万6千人。1世帯に1人は登録してほしい。本市のおおよそ世帯数である6万人の登録を目指している。

問 デジタルツールに不慣れな層を含む幅広い年代層への周知、メニューの活用方法の周知について。

部長 「広報ふじのみや」への記載、広報課窓口、各種イベントでチラシ配布等で周知。デジタルツールに不慣れな人たちに特化した周知は行っていない。便利に使っていただけるよう周知の必要性は認識している、宮ゼミのスマホ講座の中で公式LINEの紹介や便利な活用方法等のご

案内する時間を設けるなど実施に向けて関係部署と協議していく。

問 市民生活展で高校生にLINE講座をやってもらうことはできないか。

部長 市民生活展は非常に多くの市民が訪れる。今後、公式LINEの中身の紹介、使い方、高校生にもお願いできるのか、どうなのかというところも含めて、ブースを作ってやっていきたい。

問 今後、メニューに取り入れたい項目はあるのか。

部長 今は考えていることはないと答弁したが、高齢者の見守り機能みたいなものもLINEにあるよう。

こういうのがあったら面白いなというものを検討していきたい。



すずき ひろむ
鈴木 弘
(至誠)

総 務
市 民

市役所の窓口の受付業務の時間短縮について

問 窓口業務の受付時間の短縮を検討したことがあるか伺う。

部長 窓口業務の受付時間は、現在いずれの窓口においても開庁時間と同じ午前8時30分から午後5時15分までと市民に浸透している。受付時間を変えることは市民サービスに与える影響が大きく、クリアすべき課題も多いことから、これまで検討したことはない。

問 受付時短が職員の働き方にどのような効果をもたらすと考えるか伺う。

部長 市民課では午前8時30分に受付を開始するための準備として30分程度の時間を要するので時間外勤務による業務として対応している。閉庁間際に来られたお客様への対応も時間外勤務とならざるを得ない。こういった状況は市民

課に限ったものではない。窓口業務の受付時間が短縮された場合、時間外勤務の削減につながると考える。また打合せなどに集中できる時間を生み出すことができれば、業務の効率化や市民サービスの向上などにもつながることが期待される。



意見 時間外勤務が減ればワークライフ・バランスが改善され、職員の幸福度を高めることが期待できる。いい方向に進めて欲しい。

友好交流関係都市との都市交流の派遣先に台南市を加えることについて

問 中学生、高校生の派遣先に台南市を提案するがいかがか伺う。

部長 「富士宮市の未来を担う高校生人材育成事業」は産業分野等の発展が著しい海外都市を派遣先の条件としている。友好交流関係都市の台南市においては世界屈指の半導体デバイスを生産する工場も存在するなど、技術革新に触れることが可能。今年度の当事業の派遣先は台南市及びその近郊として実施していく。



こまつ かいぞう
小松 快造
(つなぐ)

産業振興
教育

今年も北山小学校六年生に傍聴に来ていただきました。

令和の米騒動について

- 問** ①昨年からの米騒動の原因をどのように分析されているのか。
- ②市内の米不足の現状はいかがか。
- ③今年の米の収量予測は立てられているのか。
- ④市内で、ここ10年における稲の作付けの変動はあるのか。
- ⑤学校給食への影響は、提供されるのは古米・古古米・古古古米いずれか。
- ⑥市では利益の出ない稲作農業に対し何か対策があるか。
- ⑦日本の農業政策についてこのままでいいのか。

部長 ①市場における米不足、長年続いた減反

政策や、異常気象による収穫量の減少、農業従事者の高齢化による人手不足、資材高騰などの影響。

②現在は福島産を使用、福島産も不足気味今後の入荷予定なし。

③その年の耕作面積調査は行っているが、その年の収穫量予測は立てていない。

④2010年と2020年を比較すると約23% (5,818アール) 減少している。

⑤公益財団法人静岡県学校給食会と契約し現段階で令和6年産、県内産が確保出来次第切り替えていく。

⑥農業者の利益向上のため、農地中間管理事業の活用による農地面積の拡大、稲作に適した肥料購入費用の一部を補助する事業を行っている。

市長 ⑦「農業なくして国はなし」。農業は国にとって重要な産業。日本の活性化に無くてはならないもの。しかし高齢化、後継者問題など多くの課題を残している。傍聴に来られている皆さんに農業に関心を持ってほしい。



なかがめ きょうへい
仲亀 恭平
(つなぐ)

教育
環境

「おいしい給食」で富士宮を元気に！ ～食育・地産地消・国際交流の推進～



問 福岡市教育委員会が学校給食を改善することが報じられた。富士宮市は大丈夫なのか。

部長 栄養士が3色食品群の揃った栄養バランス、季節を感じられる旬の食材を取り入れた献立を作成している。また、見栄えも考慮した給食を提供している。



問 最近の米価格の高騰が給食内容や運営に与える影響はあるのか。

部長 約1.3倍(前年度比)。栄養士が様々な工夫を重ねている。量や質は落としていない。

問 地元食材の給食使用率を伺う。

部長 地元食材:70.2%(国産食材:94.9%) ※令和6年度データ

問 友好都市の食文化を取り入れた特別給食を提供してはどうか。

部長 日米対抗ソフトボール応援献立としてガンボライスを提供。



こども達に好評であった。今後、ネパールカレーなどの調理方法について研究していきたい。

安全に花火を楽しむために！

広がる「禁止」から、安心して楽しめる場所へ



問 市が管理する土地や公共施設で、期間限定でも花火ができる場所として開放することを検討できないか。

部長 火災リスクや夜間の騒音、ごみの不始末などに関する苦情が多発していることから公園内での花火を一律禁止としている。一方、市民から年に数回公園で花火をしたいとの問合せをいただく。自治会単位による公園内で花火ができないか検討していきたい。例えば1週間限定、指定曜日開放とか。





もちづき よしまさ
望月 芳将
(つなぐ)

市民

国民健康保険を安定的に運営するために

問 富士宮市における経営管理ビザによる、国民健康保険加入の実績について伺う。

部長 国民健康保険のシステムでは、ビザの種類ごとによって加入状況のデータをもっていない。経営管理ビザによる保険加入の実績は把握できない。

問 経営管理ビザによる高額医療制度の活用状況は。

部長 データがないので参考までに外国人全体としてお答えすると、高額医療費の支給は19人、45件に対し835万円、支給割合は約0.8%である。

問 外国人の国民健康保険税の収納状況について伺う。

部長 市では詳細には把握していない。厚生労働省の調べでは、外国人に限った収納率は

63%である。

問 経営管理ビザと国民健康保険制度の問題点として、一番目に実態把握が自治体としてできないという点。二番目にこうした仕組みを悪用して、短期に加入して祖国に帰ってしまい、保険税の滞納が追いかけられないと認識している。市として何らかの事を起こしていくべきと考えるが。

市長 私も非常に勉強不足、今、副市長から聞いてテレビで問題になっている話だとのことで。

私は、静岡県国民健康保険連合会の理事長で、このことは国民健康保険連合会としてもきちんと調査して未納がないように努めてまいりたい。

意見 外国人の全員が悪いという話でなく、制度を悪用して保険税を滞納し、短期で帰国してしまうことが問題で、当市が今、案件がないとしても制度が存在する以上、懸念や疑問が残る。



さいとう かずふみ
齋藤 和文
(公明会)

産業振興
市教
民育

市内特定箇所の悪臭騒ぎの対応について

問 この農地の許可はどうなっているのか。

部長 この農地は農業委員会の許可を受け、農地法3条が許可されている。

問 行政として異臭に対し動いていくのか。

市長 由々しき問題、重大な問題と捉えている。今後住民理解が得られないと許可しないくらいの厳しい対応をする必要ありと考えている。

部長 事業者に対し熟成堆肥を持ち込ませる、大量持ち込みではなく、すき込みをしっかりとさせる、行為自体を職員が確認しながら、臭気のサンプルを採取し測定を行う。

特殊詐欺被害の現状と対策について

問 市内被害件数と被害総額について。

部長 令和4年から6年までは、毎年6-7件総額は650-1,300万円前後であるのに対し、

令和7年は既に8件8,267万円であり、件数被害額ともに前年を大きく上回っている。

問 『広報ふじのみや』での周知は出来ないか。

部長 市民への注意喚起は大変大切であり、広報課と協議しできるだけ早い掲載を開始したいと考えている。

公立保育園・小中学校の熱中症対策について

問 水分補給と塩分補給の必要性について。

部長 小中学生は体格や体力の面から大人と比べ熱中症にかかりやすい傾向にある。水分補給および塩分などの電解質の摂取も重要である。経口補水液やスポーツドリンクは常備している。

問 塩分タブレットを教育委員会で大量購入できないか。

部長 早速購入の準備を始め、学校規模人数に応じて全小中学校に配布する手配を進めている。



▶塩分タブレット



わたなべ よしまさ
渡辺 佳正
(超党派虹の会)

**環境
保健福祉**

白糸自然公園全体（未利用地を含む）の整備計画をどう進めていくのか

問 今年度と来年度で整備計画策定をどう進めていくのか。

部長 新たな公園アクセス道路計画、排水計画、駐車場・トイレの増設計画、新たに整備するレクリエーション施設等の素案と配置案などを策定し、来年度に市民ワークショップを開いて地域住民をはじめ市民の声を計画に反映していく。屋外大型ステージについては、今年度中に設計、イメージ図策定に取り組み、市内・県内外の文化団体に周知して誘致活動を進めていく。

問 芝川にかかるつり橋構想について市の考え方は。

部長 市として取り組む考えはない。

市長 民間事業者のいい構想と認識。行政とし

て一生懸命協力していければありがたい。

こどもまん中社会の実現に向けて

問 市のこども基本計画の策定時に実施したアンケートで、「こどもまん中社会に向かっていると思うか」の質問に、15歳から39歳の市民はどのように答えているか。

部長 「向かっていない」「どちらかという toward 向かっていない」の回答が合わせて57.2%だった。

問 小中高生の意見を市の政策などにどう反映していくのか。

部長 こども施策事業の実施にあたって、対象となるこども・若者の意見を可能な限り取り入れるため、より効果的な手法等を研究していく。

こどもの権利

条例制定について、どう考えるか。

教育長 現時点で市として取り組む考えはない。



さの としお
佐野 寿夫
(公明会)

**保健福祉
都市整備**

認知症による行方不明者となる方の現状と対応策について

問 認知症による行方不明者の推移について。

部長 令和4年度15人、令和5年度19人、令和6年度26人である。

問 民間と連携した見守り体制について。

部長 市では、地域見守りあんしん事業を実施し、令和7年6月17日時点で、民間事業者等31団体と協定を締結している。

問 認知症バリアフリー宣言富士宮版を策定してはどうか。

市長 富士宮市として重点的にこうしたことについては取り組む段取りをしていきたい。

▶ 認知症バリアフリー宣言ロゴマーク
認知症バリアフリー社会の実現に向けた機運を醸成することを目的としている



北部地域における大規模な整地作業の現状について

問 整地作業において違反に該当する基準は。

部長 盛土規制法及び市条例、いずれも盛土高30cm未満のものは、面積に関係なく許可不要となっている。これらの許可基準に該当し、なおかつ許可を得ずに施工された場合、あるいは許可を取得していても基準を逸脱し施工している場合は違反となる。

問 整地、盛土等の違反箇所数は。

部長 市内において不適切盛土として把握している件数は28件である。

問 監視カメラの活用状況について。

部長 本年度は、上井出1か所、北山1か所、根原1か所で、延べおよそ180日間を設置し、現在も継続して監視を行っている。

市長 本年度24か所の違反箇所を現場確認した。このことについては早く撤去してもらうとか何らかの対応をしていただくように市長として厳しく対応していく。

9月定例会の予定 9月12日(金)～10月17日(金)

日	月	火	水	木	金	土
9/7	8	9	10	11	12	13
					開会	
14	15	16	17	18	19	20
			審議	総務	環境	
21	22	23	24	25	26	27
	産業					
28	29	30	10/1	2	3	4
			決算	決算		
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
		一般質問	一般質問	一般質問	一般質問	審議

11月定例会の予定 11月19日(水)～12月5日(金)

日	月	火	水	木	金	土
11/16	17	18	19	20	21	22
			開会		審議	
23	24	25	26	27	28	29
		総務	環境	産業		
30	12/1	2	3	4	5	6
		一般質問	一般質問	一般質問	一般質問	審議

インターネット中継でも視聴できます。
是非ご利用ください。



※審議…議案審議、総務…総務文教委員会、環境…環境厚生委員会、産業…産業都市委員会、決算…決算審査特別委員会

◆定例会中は上記以外にも、正副議長・正副委員長会議、会派代表者会議、議会だより編集委員会などが随時開催されています。

◆日程は変更になる場合があります。間近になりましたら市議会事務局にお問い合わせください。

TEL：0544-22-1191

✿市議会議員15年表彰✿

望月芳将議員、鈴木弘議員

✿市議会議員10年表彰✿

植松健一議員

議員在職15年を迎えた、望月芳将議員、鈴木弘議員、及び議員在職10年を迎えた植松健一議員に、全国市議会議長会及び東海市議会議長会から表彰状が贈呈されました。



▲左から、鈴木弘議員、望月芳将議員、植松健一議員



▲研修会場

📖静岡県市町議会議員研修会📖

県下の全市町の議員が一堂に会し、作家／ジャーナリストの佐々木俊尚氏の「AI、自動運転、医療DX－現代の先端テクノロジーは、産業や社会をどう変えていくか」と題した講演会を聴講しました。

議会だより編集委員会の歩み

今回は、富士宮市地域女性連絡会取材させていただきました。次号(12/1発行)もどうぞ期待ください！！



笑顔のために

仲亀恭平 委員長



議会で最も熱い議論を、皆さんにお届けします！！

村瀬 旬 副委員長



議会だより編集委員一丸となって、がんばるぞ！

稲葉晃司 委員



見やすく！
読みやすく！
分かりやすく！
伝えたい！



見て！
読んで！聞いて！
市民に伝える
議会だよりを
届けます

山藤陽子 委員



平下尚己 委員

初めての
編集委員です！
笑顔でがんばりたいと
思います！



委員長を中心に
皆様に旬な話題を
お届けします

近藤千鶴 委員



編集後記

—— 仲亀恭平 委員長 ——

前号に引き続き、(仮称)郷土史博物館事業の今後について特集しました。特集ページでは、住民投票条例案に対する各会派の考えを掲載しています。また、議会だより編集委員会の歩みでは、新生・議会だよりメンバーの意気込みを載せました。

市民の皆様へ、より分かりやすく議会の活動をお伝えできるよう努めてまいります。ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

※表紙の写真(左上) 滝戸遺跡:土偶(顔部分)、(右上) 南部谷戸遺跡:勾玉、(左下) 月の輪平遺跡:高坏、(右下) 野中向原遺跡:三連甕型土器(市指定文化財:若林和司氏寄託)

NO.439 令和7年9月1日発行
【編集発行】議会だより編集委員会

〒418-8601 富士宮市弓沢町150番地
TEL 0544-22-1191 FAX 0544-22-1248
E-mail c-jimmu@city.fujinomiya.lg.jp